

第25回関宿城百景写真展入賞者作品

今年度は、21名の作品の応募がありました。12月4日（木）に厳正なる審査の結果、下記の方が入賞されました。

関宿城博物館長賞



「庭紅葉」

佐久間 浩二

枝の間隔やバランスがよく、洗い格好良さがある写真。これまでにない構図で、ここからもお城が見えることが新たな発見。

野田市関宿商工会長賞



「春に包まれて」

芝田 忠男

関宿城を撮影した写真として王道の写真。この構図の写真はこれまでも多く出品されているが、中でもすばらしい。明るくて気持ちのよい写真。

特別賞



「たそがれ関宿城」

松永 健夫

どっしりとした構図で、お城の重みを感じさせる。雲の色が出ており、おもしろい作品。



「春風のささやき」

栗原 清

桜を大胆に使った構図。桜が矢印のように城に向いており、視線を自然と城に向けさせている。



「黎明の月」

川島 昇

皆既月食を捉えた今年ならではの写真で、撮影者の努力を感じさせる。空のグラデーションが美しく、まるで絵画のよう。



「夕景」

須賀田 隆

筑波山とお城を一緒に写す構図は珍しくおもしろい。お城もくっきり映っており、浮かび上がって見えている。



「城に思いをはせる花火」

栗原 睦美

水面に花火の色が映っているのが美しい。劇的な色が印象的で、まるで映画のワンシーンのよう。